学校番号	1007

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の美術３」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・描画や造形の制作を通して、自己表現することの喜びを味わう。
・生徒が個々の持ち味を理解し、表現や鑑賞の能力を伸ばす助言を行う。
・様々な作品を鑑賞し、美術を愛好する精神を育てる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表す。
【思考力、判断力、表現力等】
・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫し、個性を生かして発想し構想を練ったり、鑑賞したりする。
【学びに向かう力、人間性等】
・美術への幅広い関心興味を持ち、創造的な諸活動に主体的に取り組もうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値意識を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	静物画	室内で様々なモチーフを置き、静物画を描く。 スケッチをした中からイメージや主題などを考え、風景画にする場所を選ぶ。 主題を基に創造的に下描きを描く。 絵の具の表現方法を創意工夫し、個性を生かして表現する。 完成した作品について振り返り、ワークシートに記入する。	a:「知」室内やモチーフの特徴を捉え、そのよさや面白さに着目して表現を工夫することを理解している。 「技」主題にあった絵の具などの表現方法を創意工夫し、個性を生かして創造的に表している。 b:「発」室内やモチーフなどの魅力を基に、主題を生成し、個性を生かして創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 c:「態表」身近なもののよさや面白さに着目して静物画に表す創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」作品に表されたモチーフなどの表現、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	スケッチ ワークシート 活動の様子 作品	スケッチ ワークシート 活動の様子 提出物など

2学期	「情報を視覚化するデザイン」	情報を整理し、伝えたい内容を視覚化して形や色を効果的に用いて見やすく分かりやすく表すためのデザインを工夫し、プレゼンテーションボードを制作する。 アイデアスケッチ プレゼンテーションボードの下描き B2 パネルにケント紙を張り、下描きを写す アクリルガッシュを用いて着彩する 制作についての振り返りや作品の鑑賞をしてワークシートに記入する	a:「知」形や色彩、文字などの工夫を基に、情報を伝えるためのデザインの効果を捉えることを理解している。 「技」伝達の目的や条件などに合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 b:「発」伝えたい内容を基に、場面に合わせた効果を考えて主題を生成し、個性豊かで創造的なデザインの構想を練っている。 「鑑」伝えたい内容を基に、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 c:「態表」情報を効果的に分かりやすく伝えるデザインの創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」情報を伝えるための方法や工夫を感じ取るデザインの鑑賞の創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。	アイデアスケッチ ワークシート 作品	アイデアスケッチ ワークシート 活動の様子 作品	アイデアスケッチ ワークシート 活動の様子 提出物など
	鑑賞レポート	・枚方市内高校合同美術展鑑賞レポート ・大阪府高校展鑑賞レポート	a:「知」形や素材、色彩などの効果を基に、さまざまな作品のイメージや作風などを捉えることを理解している。 b:「鑑」さまざまな作品のよさや美しさについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 c:「態鑑」さまざまな作品のよさや美しさなどを鑑賞する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。	鑑賞レポート	鑑賞レポート	鑑賞レポート

3学期	10倍と10分の1の世界	身近なものを10倍、10分の1という普段見慣れない大きさにしたときの空間での存在感や感じ取り方について考え、新しい視点で対象を捉えて個性を生かして表現する。 アイデアスケッチを描く アイデアスケッチから正面、側面、上面の三方向からの想像図を描く 下絵をもとに心材を作り、紙粘土などで立体作品を制作する。	a:「知」身近なモチーフの特徴やイメージ、形や大きさの効果などを捉え、表現方法を創意工夫して表す。 「技」主題にあった表現方法を創意工夫し、個性を生かして創造的に表している。 b:「発」身近なモチーフのイメージなどを基に形体や大きさの効果などを考えて主題を生成し、個性を生かして創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 c:「態表」身近なモチーフのイメージなどを基に形体や大きさの効果などを考えて表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」普段とは違う大きさで表された新しい価値や意味などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。	アイデアスケッチワークシート 作品	アイデアスケッチワークシート 作品	スケッチワークシート 活動の様子 提出物など
	展鑑賞レポート	芸文祭コンクール展作品鑑賞レポート	a:「知」形や素材、色彩などの効果を基に、さまざまな作品のイメージや作風などを捉えることを理解している。 b:「鑑」さまざまな作品のよさや美しさについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。 c:「態鑑」さまざまな作品のよさや美しさなどを鑑賞する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。	鑑賞レポート	鑑賞レポート	鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度